

高 島 警 察 署 協 議 会 議 事 録

開 催 日 時	令和4年12月8日（木）午後1時30分～午後3時20分	
開 催 場 所	高島警察署 3階会議室	
出 席 者	委 員	早川庄吉会長、清水登茂子副会長、下田悦生委員、清水浩子委員 谷口きよみ委員、岸本景子委員、池田敦子委員
	警 察	署長、副署長、調査官（警務課長）、会計課長、生活安全課長 地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長
議 事 概 要	<p>1 災害救助訓練の視察</p> <p>2 開会</p> <p>3 署長挨拶</p> <p>署長から「いつ大雪などによる災害が発生するかわからない中、高島警察署として緊張感を持ちながら対策等に向けた取組を進めている。本日の議題である災害対策に関する活発な意見を願います。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>4 議事</p> <p>(1) 10月末までの警察署の活動状況について</p> <p>警察から10月末までの活動状況について報告があった。</p> <p>(2) 提言に対する反映結果の報告について</p> <p>前回の協議会において、委員からなされた「【還付金のことでATMには絶対行かない】など、もっと表現や言葉を端的にわかりやすくした啓発ビラを作成すべき。」「留守番ボタンをポチッと作戦を推進する上で、設定方法がわからないという高齢者世帯が多いため、警察官が設定方法を教示する必要がある。」との提言に対し、警察から「緊急連絡などと題した【ATMに行って、それは詐欺！！】などのビラを作成し、各課が連携して各種イベント時等に配布し住民の理解と意識徹底を図った。」「専従班を編制した上で、集中的な巡回連絡活動を実施し、設置機種に応じた操作説明等を行った。」旨の説明がなされた。委員から「地域サロンの集会で啓発ビデオ等の貸出しをしてはどうか。」との提言に対し、警察から「地域サロンのほかに要望に応じて各家庭においても視聴できるよう、DVDを相当数準備し、幅広い周知対策を行った。」旨の説明がなされた。委員から「特殊詐欺発生時に防災無線をもっと有効活用してはどうか。」との提言に対し、警察から「市と協議・調整の上、地域防犯メールや防災無線によるリアルタイムな情</p>	

報発信体制を整え、各種啓発や被害防止活動を行った。」旨の説明と報告がなされた。

(3) 災害対策について

委員から「昨年のような大雪となれば、豪雪地帯では道路が寸断し、除雪も追いつかない。特に限界集落等では、何か起きた場合に、警察や消防が救助に行けないということになる。そういった場合の対応策等はあるのか。」旨の質問がなされ、警察から「警察が行えること、道路管理者等が行うことなどについてしっかりと関係機関等と調整・連携を図り、食料や燃料等の備蓄、連絡体制の確立等について周知・啓発を図っていく。」旨の説明がなされた。

5 会長総括

会長から「協議会において行った提言等に対して、速やかに業務に反映し、報告していただいていることに感謝する。報告いただいた結果を再度、議題とし、より良いものにしていければと思う。」旨の発言があった。

6 次回開催

令和5年3月の開催となった。